

**ROUND 関数**

**ROUNDUP 関数**

**ROUNDDOWN 関数**

**EXCEL**



# ROUND 関数

ROUND 関数とは、値を指定した位で四捨五入する関数です。消費税の計算など小数点以下の位を四捨五入する時などに使えます。

## 書式

**=ROUND (数値,桁数)**

四捨五入するときに使う関数。

( ) の中の項目を引数（ひきすう）と言います。ROUND 関数の引数は下記の 2 つです。

数値……四捨五入する数値、または計算式（セル番地で入れてもよい）

桁数……求める桁数を数値で表す

（数値,桁数）の桁数部分に入力する数値は次の事を意味します。

**-1**……一の位を四捨五入して十の位の表示にする。

**0**……小数第一位を四捨五入して一の位まで出す。

**1**……小数第二位を四捨五入して小数第一位まで出す。

## 例

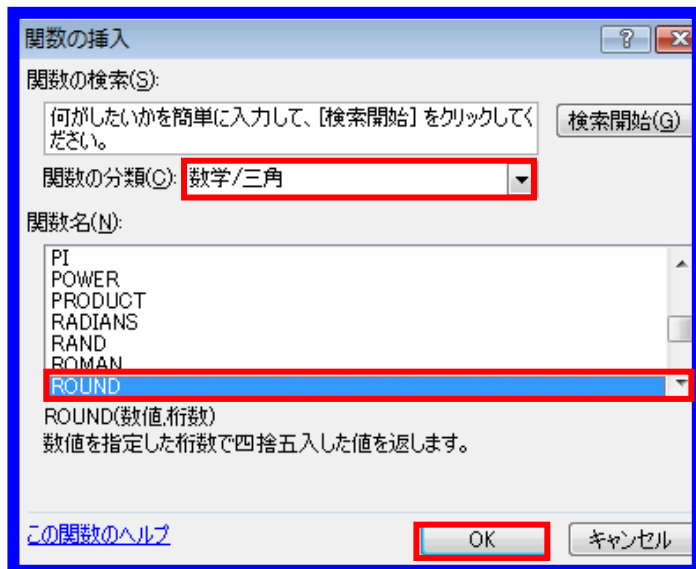
次の表の四捨五入後の数値を ROUND 関数で求めていきます。

	A	B	C	D	E
1					
2					
3		<b>数値</b>	<b>四捨五入後の数値</b>		
4			-1	0	1
5		58.19			
6		208.34			
7		25.78			
8					

- ① 答えを表示するセルを選択します。
- ② **Fx** をクリックします。
- ③ 関数の挿入画面が出てきます

	A	B	C	D	E
1					
2					
3		<b>数値</b>	<b>四捨五入後の数値</b>		
4			-1	0	1
5		58.19			
6		208.34			
7		25.78			
8					

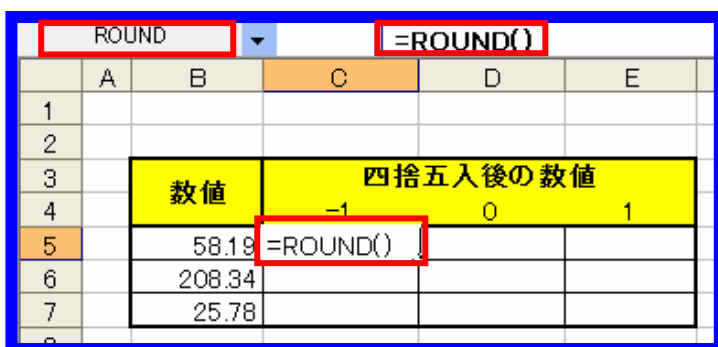
ROUND・ROUNDUP・  
ROUNDDOWN 関数



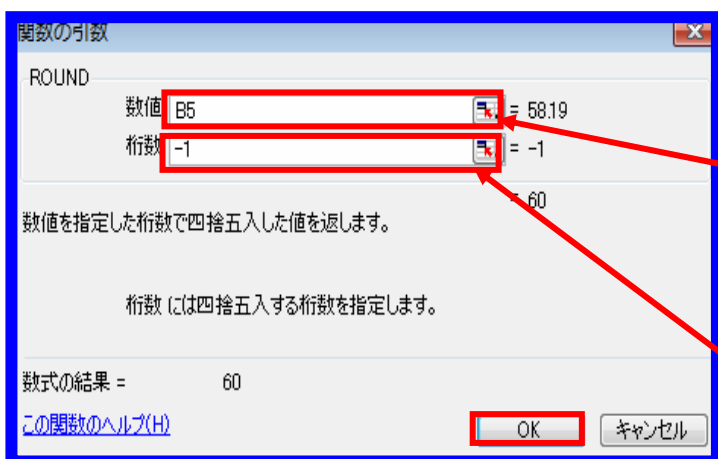
④関数の分類で「数学／三角」を選びます。

⑤関数名は「ROUND」を選択します。

⑥「OK」をクリックします。



⑦セルに「=ROUND ()」と入力されました。



⑧「関数の引数の画面」が出てきます。

⑨「数値」をクリックして、セルを選択します。

⑩「桁数」を入力します。

⑪「OK」をクリックします。

	A	B	C	D	E
1					
2					
3		<b>数値</b>	<b>四捨五入後の数値</b>		
4			-1	0	1
5		58.19	60		
6		208.34			
7		25.78			
8					

⑫60が入力されました。

⑬オートフィルで C6、C7  
の値を求めましょう。

**Let's try!**

同様に 0、1 の場合の四捨五入後の数値を求めましょう！

**答え**

	A	B	C	D	E
1					
2					
3		<b>数値</b>	<b>四捨五入後の数値</b>		
4			-1	0	1
5		58.19	60	58	58.2
6		208.34	210	208	208.3
7		25.78	30	26	25.8
8					

# ROUNDUP 関数

任意の桁数で切り上げするには ROUNDUP 関数を使います。この関数を用いることで、小数点以下切り上げや千円未満切り上げなどの表示が簡単に行えるようになります。

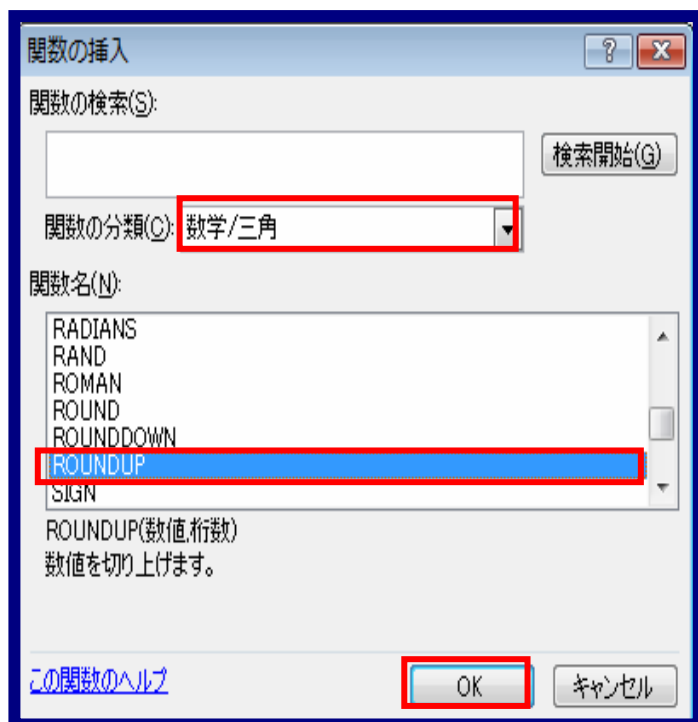
## 書式

**=ROUNDUP(数値,桁数)**

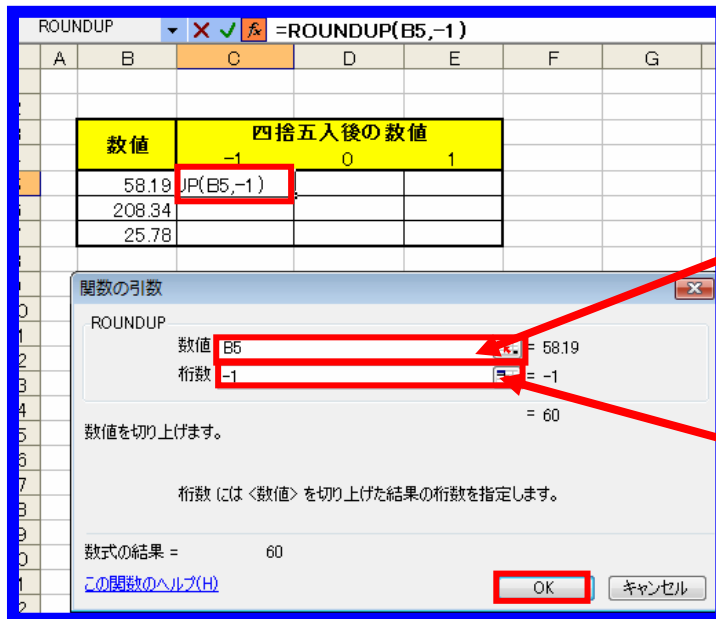
## 切り上げのときに使う

引数の考え方は ROUND 関数と同じです。

では、先ほどの表を ROUNDUP 関数を使って数値を切り上げて求めましょう。



- ① 答えを表示するセルを選択する。
- ② **f x** をクリックして関数の挿入画面を出す。
- ③ 関数の分類で **数学/三角** を選ぶ。
- ④ 関数名で **ROUNDUP** を選ぶ。
- ⑤ **OK** をクリックする。



⑥関数の引数画面が表示される。

⑦数値をクリックして、セルを選択します。

⑧桁数を入力します。

⑨OKをクリックする

	A	B	C	D	E
1					
2					
3					
4		数値	切り上げ後の数値		
			-1	0	1
5		58.19	60		
6		208.34	210		
7		25.78	30		
8					

⑩C5 を求めたら、オートフィルで値を求める。

**Let's try!**

同様に0、1の場合の値を求めましょう。

**答え**

	A	B	C	D	E
1					
2					
3					
4		数値	切り上げ後の数値		
			-1	0	1
5		58.19	60	59	58.2
6		208.34	210	209	208.4
7		25.78	30	26	25.8
8					

# ROUNDDOWN 関数

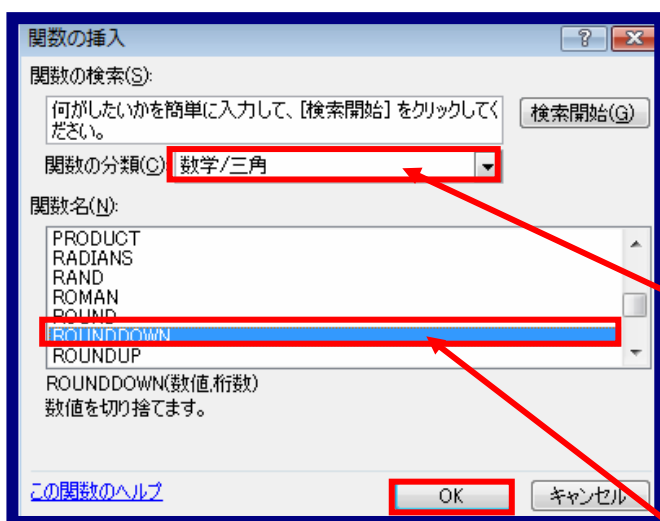
任意の桁数で切り捨てにするには ROUNDDOWN 関数を使います。この関数を用いることで、小数点以下切り捨てや千円未満切り捨てなどの表示が簡単に行えるようになります。

## 書式

**=ROUNDDOWN (数値,桁数)**

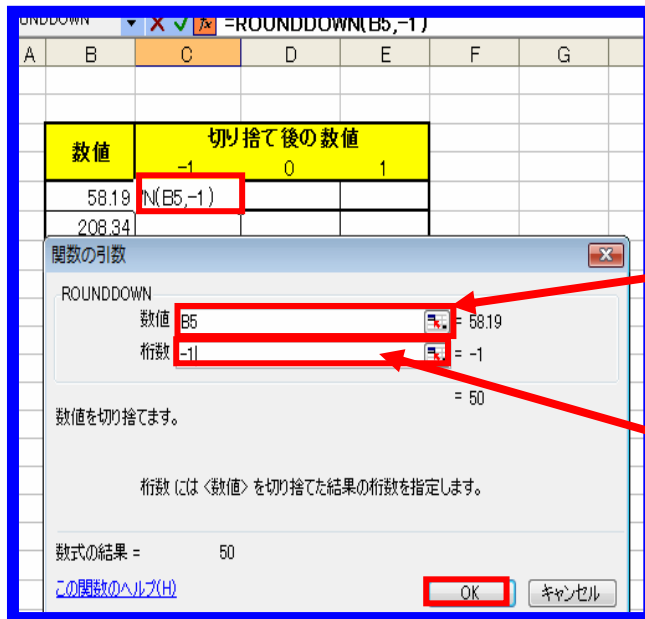
切り捨てのときに使います

引数の考え方は ROUND 関数と同じです。四捨五入ではなく、切捨てます。では、先ほどの表を ROUNDDOWN 関数を使って切り捨てで求めてみましょう。



- ① 答えを表示するセルを選択する。
- ② **f x** をクリックして関数の挿入画面を出す。
- ③ 関数の分類で **数学/三角** を選ぶ。
- ④ ROUNDDOWN 関数を選び、**OK** をクリックする。





⑤関数の引数画面が表示される。

⑥数値をクリックして、セルを選択します。

⑦桁数を入力します。

⑧OKをクリックする

	A	B	C	D	E
1					
2					
3					
4		数値	切り捨て後の数値		
			-1	0	1
5		58.19	50		
6		208.34	200		
7		25.78	20		
8					

C5を求めたら、オートフィル  
で値を求める。

**Let's try!**

同様に0、1の場合の値を求めましょう。

**答え**

	A	B	C	D	E
1					
2					
3					
4		数値	切り捨て後の数値		
			-1	0	1
5		58.19	50	58	58.1
6		208.34	200	208	208.3
7		25.78	20	25	25.7
8					

# 練習問題

📖 消費税を5%として、次の表の各消費税を求めなさい。

E12		fx				
	A	B	C	D	E	F
1						
2		消費税				
3					消費税5%	
4		商品名	金額	四捨五入	切り上げ	切り捨て
5		バラの花	5300			
6		花瓶	8637			
7		香水	3980			
8		ケーキ	2520			
9						

**ヒント!** ROUND 関数、ROUNDUP 関数、ROUNDDOWN 関数を使っ

て求めましょう!

**オートフィル**を使うと簡単に早く求められます。

## 答え

H19		fx				
	A	B	C	D	E	F
1						
2		消費税				
3					消費税5%	
4		商品名	金額	四捨五入	切り上げ	切り捨て
5		バラの花	5898	295	295	294
6		花瓶	9765	488	489	488
7		香水	3550	178	178	177
8		ケーキ	2674	134	134	133
9						